

事務事業名	中国帰国者等生活支援事業(単独)		会計	一般会計	実施区分	継続		
			事業種別	政策	開始	終了		
H29作成課等名	福祉課	H29係等名	生活福祉係	H28担当課等名 福祉課				
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり					
	施策	36	生活困難者の自立及び支援					
目的	対象(誰・何を)	中国帰国者 負担金支出先:中国帰国者交流会		対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どうい状態にするか)	帰国者同士がふれあいをすることにより、安心して生活が送れるようにする			国費帰国者数(人)	44		
	向上させたい上位施策の成果指標	生活相談者数/人口(外国人を含む)(%)						
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	交流会への参加者数/国費帰国者 (%)		48	48.9	40	61.4	
	定性目標							
事業概要	1 日本での生活が定着しても、孤立化しないよう、同じ境遇を過ごしてきた帰国者同士のふれあいの場を設け、交流を図る。							
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標		
	1 中国帰国者交流会 2 傷病見舞金の支給			1 参加人数 2 支給件数		1 27人 2 0件		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足		
事業費計(千円)①		125	134	125	0			
国庫支出金								
県支出金								
起債								
その他								
一般財源		125	134	125				
人件費計(千円)②		715	715	715	0			
正規職員所要時間		200	200	200				
臨時職員所要時間								
総事業費①+②		840	849	840	0			
事業内容・目標達成状況の振り返り	帰国者の高齢化により参加率の低下が見込まれたが、送迎等の対応を工夫することで目標を上回る参加率となった。一方で、当初参加の申込みをしていたが、体調や気分がすぐれず、急遽不参加となる方もいた。介護施設入所者等については、相手方施設の理解・協力も不可欠である。							
改革改善の考え方	①問題点	中国帰国者等の高齢化による、交流会への参加者数減少。						
	②改革提案	参加者数に応じて規模を徐々に縮小する方向で考えねばならない。同時に、参加できる方々へは積極的な呼びかけを行い、参加しやすく、意義のある交流会となるよう一層の工夫が必要である。						